

原子力分野における大学連携ネットワークの主な活動

(概要)

原子力機構と金沢大学、東京工業大学、福井大学、茨城大学、岡山大学及び大阪大学の6大学とは、原子力分野の人材育成を推進するために、ネットワークを構築し、遠隔システムを活用した共通講座の実施、岡山大学及び福井大学で一堂に会して実施する集中講座、また、原子力機構の施設、設備を利用した学生実習プログラム等を実施しています。これに新たに名古屋大学が参画し、7大学と原子力機構の8機関で推進するものです。

(協議)

原子力分野における大学連携ネットワークでは、参画大学と原子力機構の緊密な連携協力を図るため、年度計画決定や実績のレビューを行う連携協力推進協議会、更に企画調整分科会を適宜開催することにより、協議を円滑に推進していきます。

(連携教育カリキュラムの実施)

- ・共通講座:遠隔教育システムを活用したライブ講義形式(期間中毎週金曜日午後開催)
前期科目4月～7月:原子力工学基礎(Ⅰ):放射線・原子核に係る科目
後期科目10月～1月:原子力工学基礎(Ⅱ):核燃料サイクルに係る科目
- ・集中講座:講師、学生が一堂に会して約一週間集中的に開催
岡山大学科目:環境と人間活動:8月頃
福井大学科目:原子力の安全性と地域共生:9月頃
- ・学生実習:原子力機構において放射線計測、核燃料サイクル技術に係る実習:8月頃

以上の取り組みは、参画大学の特徴や原子力機構の施設や人材を相互補完的に最大限活用し、原子力分野の専門知識や能力を有する人材の育成に大きく寄与するとともに、今後ネットワークの強化による原子力教育の充実化やネットワーク参画大学間の交流等が期待されます。

原子力分野における大学連携ネットワーク活動イメージ

